

## くまのコールテンくん

ドン＝フリーマン 作

まつおかきょうこ 訳

偕成社 1975年 1200円



デパートのおもちゃ売り場にいるぬいぐるみのコールテンくんは、早く誰かがうちに連れて行って欲しくないかなあいつも思っていました。ある日、ひとりの女の子がコールテンくんをほしがりますが、ズボンのつりひものボタンがとれているので買ってもらえません。そこで、コールテンくんはその夜ボタンを探しに出かけます。夜のデパートでのドキドキする冒険、そして女の子に連れて行ってもらえる結末が深い満足感を与えます。

## クリスマスってなあに

ディック＝ブルーナ 作

ふなざきやすこ 訳

講談社 1982年 800円



イエスが生まれた夜のおはなし。羊飼いたちと三人の学者が、天使や大きな明るい星に導かれて、神様の子どもが生まれたベツレヘムの馬小屋へとやってきます。かいば桶の中にはヨセフとマリアに見守られて、赤ん坊が眠っていました。「うさこちゃん」シリーズで有名な作者の絵本です。明るい色の単純化された親しみやすい絵で、クリスマスをなぜお祝いするのかをやさしく紹介しています。

## ぐりとぐら

なかがわりえこ 文

おおむらゆりこ 絵

福音館書店 1967年 743円



お料理すること、食べることが大好きなのねずみのぐりとぐらが森の奥で見つけたもの、それはとても大きな卵でした。2匹は、この卵を使って、大きなかすてらを作ることにしました。ふっくらと焼きあがったかすてらのおいしさに、森中の動物たちも集まってきました。残った卵の殻で、ぐりとぐらは何をつくったのでしょうか？シリーズは「ぐりとぐらのかいすいよく」などがあります。